

中华史书精典系列

简体横排标点本

●
新五代史

●
旧五代史

●
金史

●
辽史



二十五史

(全本)

新疆青少年出版社

中华史书精典系列

●
新五代史

●
旧五代史

●
金史

●
辽史

简体横排标点本

二十五史

(全本)

新疆青少年出版社

责任编辑：王力行 高修俊 张奋成
封面设计：云 青

中华史书精典系列
(简体横排标点本)
二十五史

新疆青少年出版社出版发行
(乌鲁木齐市胜利路100号 邮编：830001)
各地新华书店经销 郑州文华印刷厂印刷
850×1168毫米 32开 580印张 60000千字
1999年6月第1版 1999年6月第1次印刷
印数：1-5000

ISBN 7-5371-3356-5/K·74
定价：498.00元 (全套17册)

如有印装问题请直接同承印厂调换

列传九	35	旧五代史第二十五卷	唐书一	47
氏琮	35		武皇纪上	47
朱友恭	36	旧五代史第二十六卷	唐书二	49
王重师	36		武皇纪下	49
朱重珍	36	旧五代史第二十七卷	唐书三	52
李思安	36		庄宗纪一	52
邓季文	37	旧五代史第二十八卷	唐书四	54
黄筠	37		庄宗纪二	54
胡规	37	旧五代史第二十九卷	唐书五	56
李重允	37		庄宗纪三	56
李居实	37	旧五代史第三十卷	唐书六	58
范居实	37		庄宗纪四	58
旧五代史第二十卷	梁书二十	旧五代史第三十一卷	唐书七	61
列传十	37		庄宗纪五	61
谢瞳	37	旧五代史第三十二卷	唐书八	62
司马邺	38		庄宗纪六	62
刘捍	38	旧五代史第三十三卷	唐书九	65
王敬菟	38		庄宗纪七	65
高劭	38	旧五代史第三十四卷	唐书十	67
马勛	38		庄宗纪八	67
张存敬	38	旧五代史第三十五卷	唐书十一	69
寇彦卿	39		明宗纪一	69
寇彦卿	39	旧五代史第三十六卷	唐书十二	72
梁书二十一			明宗纪二	72
列传十一	39	旧五代史第三十七卷	唐书十三	73
师古	39		明宗纪三	73
霍存	39	旧五代史第三十八卷	唐书十四	75
符道昭	39		明宗纪四	75
徐怀玉	40	旧五代史第三十九卷	唐书十五	77
郭李	40		明宗纪五	77
唐寅	40	旧五代史第四十卷	唐书十六	79
王康裕	40		明宗纪六	79
刘康父	40	旧五代史第四十一卷	唐书十七	81
刘彦章	40		明宗纪七	81
王彦章	40	旧五代史第四十二卷	唐书十八	83
贺德伦	41		明宗纪八	83
贺德伦	41	旧五代史第四十三卷	唐书十九	85
梁书二十二			明宗纪九	85
列传十二	41	旧五代史第四十四卷	唐书二十	87
杨厚	41		明宗纪十	87
牛存节	42	旧五代史第四十五卷	唐书二十一	89
王檀	42		闵帝纪	89
王檀	42	旧五代史第四十六卷	唐书二十二	90
梁书二十三			末帝纪上	90
列传十三	43	旧五代史第四十七卷	唐书二十三	93
刘邠	43		末帝纪中	93
贺瑰	44	旧五代史第四十八卷	唐书二十四	95
康怀英	44		末帝纪下	95
王景仁	45	旧五代史第四十九卷	唐书二十五	97
王景仁	45		列传一(后妃)	97
梁书二十四			贞简曹太后	97
列传十四	45		刘太妃	98
李珣	46		魏国夫人	98
卢曾	46			
孙隋	46			
张俊	46			
张衍	46			
张荀	46			
苟鹤	46			
罗隐	46			
仇殷	46			
殷深	47			

陈氏 …… 98	康君立 …… 107
神闵刘皇后 …… 98	薛志勤 …… 107
韩淑妃 …… 98	史建塘 …… 108
伊德妃 …… 98	史承嗣 …… 108
昭懿夏皇后 …… 98	史俨 …… 108
和武曹皇后 …… 98	史盖寓 …… 108
宣宪魏太后 …… 98	伊广 …… 109
孔皇后 …… 99	李承勋 …… 109
刘皇后 …… 99	史敬镛 …… 109
旧五代史第五十卷	唐书三十二
唐书二十六	列传八
列传二(宗室)	周德威 …… 109
克让 …… 99	符存审 …… 110
克修 …… 99	子彦超 …… 111
子嗣肱 …… 99	唐书三十三
克恭 …… 100	列传九
克宁 …… 100	郭崇韬 …… 111
唐书二十七	唐书三十四
列传三(宗室)	列传十
永存霸 …… 100	赵光逢 …… 113
邕王存美 …… 100	弟光允 …… 113
薛王存礼 …… 100	郑珏 …… 113
申睦王存渥 …… 100	崔协 …… 113
通王存义 …… 100	李珣 …… 114
通王存确 …… 101	萧顷 …… 115
雅王存纪 …… 101	唐书三十五
魏王继尧 …… 101	列传十一
弟继潼等 …… 101	丁会 …… 115
继臻 …… 101	阎宝 …… 115
秦王从荣 …… 101	符习 …… 115
从璨 …… 101	乌震 …… 116
许王从益 …… 101	王瓌 …… 116
重吉 …… 102	袁象先 …… 116
雍王重美 …… 102	张温 …… 117
唐书二十八	李绍文 …… 117
列传四	唐书三十六
李嗣昭 …… 102	列传十二
子继韬 …… 103	袁吉 …… 117
裴约 …… 103	李铖 …… 118
李嗣本 …… 103	敬义 …… 118
李嗣恩 …… 103	汝弼 …… 118
唐书二十九	李德休 …… 118
列传五	李循 …… 119
李存信 …… 104	子楷 …… 119
李存孝 …… 104	唐书三十七
李存进 …… 105	列传十三
李存汉 …… 105	安金全 …… 119
李存璋 …… 105	从子审通 …… 119
李存贤 …… 105	安元信 …… 119
唐书三十	安重霸 …… 120
列传六	刘训 …… 120
王镒 …… 105	张敬询 …… 120
子昭海 …… 106	刘彦琮 …… 120
王处直 …… 106	袁建丰 …… 120
子都 …… 107	西方邺 …… 120
唐书三十一	张遵海 …… 121
列传七	
旧五代史第五十一卷	
唐书二十七	
列传三(宗室)	
永存霸 …… 100	
邕王存美 …… 100	
薛王存礼 …… 100	
申睦王存渥 …… 100	
通王存义 …… 100	
通王存确 …… 101	
雅王存纪 …… 101	
魏王继尧 …… 101	
弟继潼等 …… 101	
继臻 …… 101	
秦王从荣 …… 101	
从璨 …… 101	
许王从益 …… 101	
重吉 …… 102	
雍王重美 …… 102	
唐书二十八	
列传四	
李嗣昭 …… 102	
子继韬 …… 103	
裴约 …… 103	
李嗣本 …… 103	
李嗣恩 …… 103	
唐书二十九	
列传五	
李存信 …… 104	
李存孝 …… 104	
李存进 …… 105	
李存汉 …… 105	
李存璋 …… 105	
李存贤 …… 105	
唐书三十	
列传六	
王镒 …… 105	
子昭海 …… 106	
王处直 …… 106	
子都 …… 107	
唐书三十一	
列传七	
旧五代史第五十二卷	
唐书二十八	
列传四	
李嗣昭 …… 102	
子继韬 …… 103	
裴约 …… 103	
李嗣本 …… 103	
李嗣恩 …… 103	
唐书二十九	
列传五	
李存信 …… 104	
李存孝 …… 104	
李存进 …… 105	
李存汉 …… 105	
李存璋 …… 105	
李存贤 …… 105	
唐书三十	
列传六	
王镒 …… 105	
子昭海 …… 106	
王处直 …… 106	
子都 …… 107	
唐书三十一	
列传七	
旧五代史第五十三卷	
唐书二十九	
列传五	
李存信 …… 104	
李存孝 …… 104	
李存进 …… 105	
李存汉 …… 105	
李存璋 …… 105	
李存贤 …… 105	
唐书三十	
列传六	
王镒 …… 105	
子昭海 …… 106	
王处直 …… 106	
子都 …… 107	
唐书三十一	
列传七	
旧五代史第五十四卷	
唐书三十	
列传六	
王镒 …… 105	
子昭海 …… 106	
王处直 …… 106	
子都 …… 107	
唐书三十一	
列传七	
旧五代史第五十五卷	
唐书三十一	
列传七	

旧五代史第六十二卷	孙璋 121	唐书三十八
	列传十四	
	孟方立 121	
	张文礼 121	
	董璋 122	
旧五代史第六十三卷	唐书三十九	
	列传十五	
	张全义 122	
	朱友谦 124	
旧五代史第六十四卷	唐书四十	
	列传十六	
	霍彦威 124	
	王晏球 125	
	戴思远 125	
	朱汉宾 125	
	孔勣 126	
	刘玘 126	
	周知裕 126	
旧五代史第六十五卷	唐书四十一	
	列传十七	
	李建及 126	
	石君立 126	
	高行珪 127	
	张廷裕 127	
	王思通 127	
	王索 127	
旧五代史第六十六卷	唐书四十二	
	列传十八	
	安重海 128	
	朱宏昭 128	
	朱洪实 128	
	康义诚 129	
	药彦稠 129	
	宋令询 129	
旧五代史第六十七卷	唐书四十三	
	列传十九	
	豆卢革 129	
	韦说 129	
	卢程 130	
	赵凤 130	
	李愚 130	
	李任圜 131	
旧五代史第六十八卷	唐书四十四	
	列传二十	
	薛廷珪 132	
	崔沂 132	
	刘岳 132	
	封舜卿 132	
	窦梦征 132	
	李保殷 132	
	归嵩 132	
	孔遵 133	
	张文宝 133	
	陈义 133	
	刘赞 133	

旧五代史第六十九卷	唐书四十五
	列传二十一
	张宪 133
	王正言 134
	胡装 134
	崔贻孙 134
	孟鹤 134
	孙岳 134
	张延朗 135
	刘延皓 135
	刘延朗 135
旧五代史第七十卷	唐书四十六
	列传二十二
	元行钦 135
	夏鲁奇 136
	姚洪 136
	严 136
	李仁矩 136
	李思敬 136
	张敬达 137
旧五代史第七十一卷	唐书四十七
	列传二十三
	马郁 137
	司空颖 137
	曹延隐 137
	萧希甫 137
	药纵之 138
	贾夔 138
	马縞 138
	罗贯 138
	淳于晏 138
	张许叔 138
	周元豹 138
旧五代史第七十二卷	唐书四十八
	列传二十四
	张承业 139
	张居翰 139
	马绍宏 139
	孟汉琼 140
旧五代史第七十三卷	唐书四十九
	列传二十五
	毛璋 140
	聂屿 140
	温韬 140
	段凝 140
	孔谦 141
	李邺 141
旧五代史第七十四卷	唐书五十
	列传二十六
	康延孝 141
	朱守殷 142
	杨立 142
	窦延瓌 142
	张虔钊 142
	杨彦温 142

旧五代史目录下

旧五代史第七十五卷	晋书一 高祖纪一	143
旧五代史第七十六卷	晋书二 高祖纪二	145
旧五代史第七十七卷	晋书三 高祖纪三	148
旧五代史第七十八卷	晋书四 高祖纪四	150
旧五代史第七十九卷	晋书五 高祖纪五	152
旧五代史第八十卷	晋书六 高祖纪六	154
旧五代史第八十一卷	晋书七 少帝纪一	156
旧五代史第八十二卷	晋书八 少帝纪二	158
旧五代史第八十三卷	晋书九 少帝纪三	160
旧五代史第八十四卷	晋书十 少帝纪四	162
旧五代史第八十五卷	晋书十一 少帝纪五	164
旧五代史第八十六卷	晋书十二 列传一(后妃)	166
	李皇后	166
	安太后	166
	张皇后	166
	冯皇后	166
旧五代史第八十七卷	晋书十三 列传二(宗室)	167
	广王敬威	167
	弟赞	167
	韩荆王暉	167
	允	167
	魏王重英	167
	楚王重信	167
	寿王重义	167
	夔王重进	167
	陈王重果	167
	重睿	167
	重懿	167
	延宝	167
旧五代史第八十八卷	晋书十四 列传三	168
	景延广	168
	李彦韬	168
	张希崇	168
	王庭允	169
	史匡翰	169
	梁汉颙	169
	杨思权	169
	尹暉	169
	李从璋	170

旧五代史第八十九卷

晋书十五 列传四	170
桑维翰	170
赵莹	172
刘洵	172
冯玉	173
殷鹏	173

旧五代史第九十卷

晋书十六 列传五	173
赵礼	173
全节	174
马筠	174
弟箴	174
华温琪	174
阮询	175
安杨彦	175
李思约	175
陆安元	175
朗德	175
李朗	176
田武	176
李福	176
李相	176

旧五代史第九十一卷

晋书十七 列传六	176
房温	176
王建	176
康福	177
彦威	177
安李周	177
张从训	178
李继忠	178
李頔	178
周光辅	178
符彦饶	178
罗周敬	178
郑琮	178

旧五代史第九十二卷

晋书十八 列传七	179
姚顼	179
吕琦	179
梁文矩	179
史圭	179
裴暉	179
吴承范	180
卢导	180
郑韬光	180
王权	180
韩恽	180
李恽	180

旧五代史第九十三卷

晋书十九 列传八	181
-------------	-----

子重俊

李从温

张万进

晋书十五

列传四

桑维翰

赵莹

刘洵

冯玉

殷鹏

晋书十六

列传五

赵礼

全节

马筠

弟箴

华温琪

阮询

安杨彦

李思约

陆安元

朗德

李朗

田武

李福

李相

晋书十七

列传六

房温

王建

康福

彦威

安李周

张从训

李继忠

李頔

周光辅

符彦饶

罗周敬

郑琮

晋书十八

列传七

姚顼

吕琦

梁文矩

史圭

裴暉

吴承范

卢导

郑韬光

王权

韩恽

李恽

晋书十九

列传八

170	卢质	181
170	李专美	181
170	卢詹	181
170	崔祝融	181
170	薛国珍	182
170	曹国珍	182
170	张仁愿	182
170	赵熙	182
170	李照	182
170	尹玉羽	182
170	郑云叟	182

旧五代史第九十四卷

173	晋书二十	183
173	列传九	183
173	苾从简	183
173	潘环	183
173	方大	183
173	何建	183
173	张廷蕴	184
173	郭延鲁	184
173	郭金海	184
173	刘处让	184
173	李琼	184
173	高汉筠	185
173	孙彦韬	185
173	王傅拯	185
173	李秘	185
173	李彦珣	185

旧五代史第九十五卷

178	晋书二十一	186
178	列传十	186
178	皇甫遇	186
178	王清	186
178	梁汉璋	186
178	白奉进	186
178	卢顺密	187
178	周瑰	187
178	沈赞	187
178	吴彦	187
178	翟璋	187
178	程福	187
178	郭玘	187

旧五代史第九十六卷

179	晋书二十二	188
179	列传十一	188
179	孔崇弼	188
179	陈王瑜	188
179	张继祚	188
179	郑阮	188
179	胡饶	188
179	刘清	188
179	房嗣	189
179	孟海	189
179	刘承	189
179	刘受益	189
179	程逊	189
179	李郁	189
179	马重绩	189

旧五代史第九十七卷

旧五代史第九十八卷

旧五代史第九十九卷

旧五代史第一百卷

旧五代史第一百一卷

旧五代史第一百二卷

旧五代史第一百三卷

旧五代史第一百四卷

旧五代史第一百五卷

旧五代史第一百六卷

旧五代史第一百七卷

189	陈元	189
189	晋书二十三	189
189	列传十二	189
189	范延光	189
189	张从宾	190
189	张延播	190
189	杨光远	190
189	卢承勋	191
189	卢文进	191
189	李金全	191
189	晋书二十四	192
189	列传十三	192
189	安重荣	192
189	安从进	193
189	张彦泽	193
189	赵德钧	193
189	子延寿	194
189	张砺	194
189	萧翰	195
189	刘晔	195
189	崔延勋	195
189	汉书一	195
189	高祖纪上	195
189	汉书二	197
189	高祖纪下	197
189	汉书三	199
189	隐帝纪上	199
189	汉书四	200
189	隐帝纪中	200
189	汉书五	202
189	隐帝纪下	202
189	汉书六	204
189	列传一 (后妃)	204
189	李皇后	204
189	汉书七	205
189	列传二 (宗室)	205
189	魏王承训	205
189	陈王承勋	205
189	蔡王信	205
189	湘阴公赞	205
189	汉书八	206
189	列传三	206
189	王周	206
189	刘审交	206
189	武汉球	206
189	张瓘	206
189	李殷	206
189	刘在明	206
189	马万	207
189	李彦从	207
189	郭谨	207
189	皇甫立	207
189	皇白再荣	207
189	张鹏	207
189	汉书九	207

列传四	董德妃	238
史宏肇	贞惠刘皇后	239
杨邠	宣懿符皇后	239
王章		
李洪建		
李弟业		
阎晋卿		
聂文进		
后赞		
郭允明		
刘铎		
旧五代史第一百八卷	汉书十	
列传五	李崧	210
李逢吉	210	
李筠	211	
龙敏	211	
刘鼎	212	
张允	212	
任延皓	212	
旧五代史第一百九卷	汉书十一	
列传六	杜重威	212
李守贞	213	
赵思绾	214	
旧五代史第一百十卷	周书一	
太祖纪一	214	
旧五代史第一百十一卷	周书二	
太祖纪二	218	
旧五代史第一百十二卷	周书三	
太祖纪三	219	
旧五代史第一百十三卷	周书四	
太祖纪四	222	
旧五代史第一百十四卷	周书五	
世宗纪一	224	
旧五代史第一百十五卷	周书六	
世宗纪二	226	
旧五代史第一百十六卷	周书七	
世宗纪三	229	
旧五代史第一百十七卷	周书八	
世宗纪四	231	
旧五代史第一百十八卷	周书九	
世宗纪五	233	
旧五代史第一百十九卷	周书十	
世宗纪六	235	
旧五代史第一百二十卷	周书十一	
恭帝纪	237	
旧五代史第一百二十一卷	周书十二	
列传一 (后妃)	圣穆柴皇后	238
杨淑妃	238	
张贵妃	238	
旧五代史第一百二十二卷	周书十四	
列传二 (宗室)	刘王侗	239
杞王信	239	
越王宗道	239	
曹王宗让	239	
纪王熙谨	239	
蕲王熙海	239	
旧五代史第一百二十三卷	周书十五	
列传三	高行周	240
安审琦	240	
安审晖	240	
安审信	241	
李从敏	241	
郑仁海	241	
张彦成	241	
安叔千	241	
宋彦筠	242	
旧五代史第一百二十四卷	周书十六	
列传四	王殷	242
何福进	242	
刘词	242	
王进	243	
史彦超	243	
史懿	243	
王令温	243	
周密	243	
李怀忠	243	
白文珂	243	
白延遇	243	
唐景思	244	
旧五代史第一百二十五卷	周书十七	
列传五	赵晖	244
王守恩	244	
孔知浚	245	
王继宏	245	
冯晖	245	
高允权	245	
折从阮	245	
王饶	246	
孙方谏	246	
旧五代史第一百二十六卷	周书十八	
列传六	冯道	246

旧五代史第一百二十七卷

周书十八

列传七

卢文纪..... 248

马裔孙..... 249

和凝..... 249

苏禹珪..... 250

景范..... 250

旧五代史第一百二十八卷

周书十九

列传八

王朴..... 250

杨凝式..... 251

薛仁谦..... 251

萧愿..... 251

卢损..... 252

王仁裕..... 252

裴羽尧..... 252

段希尧..... 252

司徒诩..... 252

边蔚..... 252

王敏..... 252

旧五代史第一百二十九卷

周书二十

列传九

常思..... 253

翟邨..... 253

曹英..... 253

李彦颜..... 253

李彦晖..... 253

李建崇..... 253

王重裔..... 253

孙汉英..... 254

许迁..... 254

赵凤..... 254

齐藏珍..... 254

王环..... 254

张彦超..... 254

张颖..... 254

刘仁瞻..... 254

旧五代史第一百三十卷

周书二十一

列传十

王峻..... 255

慕容彦超..... 256

闾弘鲁..... 256

崔周度..... 256

旧五代史第一百三十一卷

周书二十二

列传十一

刘皞..... 256

张沆..... 256

张可复..... 257

于德辰..... 257

王延..... 257

旧五代史第一百三十二卷

世袭列传一

申文炳..... 257

扈载..... 257

刘袞..... 257

贾纬..... 257

赵延义..... 258

沈遵..... 258

李知损..... 258

孙晟..... 258

世袭列传一

李茂贞..... 259

从昶..... 259

从昶..... 260

茂勋..... 260

高万兴..... 260

允韬..... 260

韩逊..... 260

朱..... 260

李仁福..... 260

彝超..... 260

彝兴..... 261

旧五代史第一百三十三卷

世袭列传二

高季兴..... 261

从海..... 261

保助..... 261

马殷..... 262

希范等..... 262

刘言..... 262

钱鏐..... 263

元瓘..... 264

佐..... 264

保..... 264

俣..... 264

旧五代史第一百三十四卷

僭伪列传一

杨行密..... 264

渥..... 265

滑..... 265

溥..... 265

李昇..... 265

景..... 266

王审知..... 266

延钧..... 267

昶..... 267

延羲..... 267

旧五代史第一百三十五卷

僭伪列传二

刘守光..... 267

刘陟..... 269

玢..... 269

晟..... 269

铎..... 269

刘崇..... 269

旧五代史第一百三十六卷

僭伪列传三

三十六卷		王建…………… 270	旧五代史第一百四十四卷	志二 历…………… 276
		衍…………… 270	旧五代史第一百四十一卷	志三 五行…………… 280
		孟知祥…………… 271	旧五代史第一百四十二卷	志四 礼上…………… 281
		景…………… 271	旧五代史第一百四十三卷	志五 礼下…………… 284
旧五代史第一百 三十七卷	外国列传一	契丹…………… 272	旧五代史第一百四十四卷	志六 乐上…………… 285
旧五代史第一百 三十八卷	外国列传二	吐蕃…………… 274	旧五代史第一百四十五卷	志七 乐下…………… 287
		回鹘…………… 274	旧五代史第一百四十六卷	志八 食货…………… 289
		高丽…………… 274	旧五代史第一百四十七卷	志九 刑法…………… 291
		渤海…………… 275	旧五代史第一百四十八卷	志十 选举…………… 293
		黑水…………… 275	旧五代史第一百四十九卷	志十一 职官…………… 295
		新罗…………… 275	旧五代史第一百五十卷	志十二 郡县…………… 298
		党项…………… 275		
		昆明部落…………… 275		
		于阗…………… 275		
		占城…………… 275		
		荆蛮…………… 275		
旧五代史第一百三十九卷	志一 天文…………… 275			

旧五代史第一卷

梁书一

太祖纪一

太祖神武元圣孝皇帝，姓朱氏，讳晃，本名温，宋州碭山人。其先舜司徒之后。高祖黜，曾祖茂琳，祖信，父诚。帝即诚之第三子，母曰文惠王皇后。《五代会要》：梁太祖宣元皇帝讳温，舜司徒虎四十二代孙；开平元年七月，追尊宣元皇帝，庙号肅祖，葬兴极殿。敬祖光献皇帝讳茂琳，宣元皇帝长子，母曰宣僖皇后范氏；开平元年七月，追尊光献皇帝，庙号敬祖，葬永安陵。先祖昭武皇帝讳信，光献皇帝长子，母曰光孝皇后杨氏；开平元年七月，追尊昭武皇帝，庙号宪祖，葬光天陵。烈祖文穆皇帝讳诚，昭武皇帝长子，母曰昭懿皇后刘氏；开平元年七月，追尊文穆皇帝，庙号烈祖，葬咸宁陵。《以唐大中六年岁在壬申，十月二十一日夜，生于碭山县午沟里。是夕，所居庐舍之上有赤气上腾。里人望之，皆惊奔而来，曰：“朱家火发矣！”及至，则庐舍俨然。既入，邻人以诞孩告，众咸异之。昆仲三人，俱未冠而孤，母携养寄于萧县人刘崇之家。帝既壮，不事生业，以雄勇自负，里人多厌之。崇以其惰惰，每加遭杖。唯崇母自幼怜之，亲为褓发，尝诫人曰：“朱三非常人也，汝辈当善待之。”家人问其故，答曰：“我曾见其熟寐之状，化为一赤蛇。”然众亦未之信也。

唐僖宗乾符中，关东荐饥，群贼啸聚。黄巢因之，起于曹、濮，饥民愿附者凡数万。帝乃辞崇家，与仲兄存俱入巢军，以力战屢捷，得补为队长。唐广明元年十二月甲申，黄巢陷长安，遣帝领兵屯于东渭桥。是时，夏州节度使诸葛爽率所部屯于柘阳，巢命帝招谕爽，爽遂降于巢。中和元年二月，巢以帝为东南面行营先锋使，令攻南阳，下之。六月，帝归长安，巢亲劳于灊上。七月，巢遣帝西拒郿、岐、麟、夏之师于兴平，所至皆立功。

二年二月，巢以帝为同州行御使，自攻取。帝乃自丹州南行，以击左冯翊，拔之，遂据其郡。时河中节度使王重荣屯兵数万，纠兵诸侯，以图复兴。帝时与之邻封，屢为重荣所败，遂请济师于巢。表章十上，为仇左军使孟楷所蔽，不达。又闻巢军势盛，诸校离心，帝知其必败。九月，帝遂与左右定计，斩伪监军使严实，举部降于重荣。重荣即日飞章上奏，时喜晋卫大將軍，充河中行营副招讨使。仍赐名全忠。自是率所部与河中兵士游历，所向无不克捷。

三年三月，僖宗制授帝宣武军节度使，依前充河中行营副招讨使，仍令候收复京阙，即得赴镇。四月，巢军自蓝关南走，帝与诸侯之师俱收长安，乃率部下旅之众，伐节度下。七月丁卯，入于梁苑。是时，帝年三十三。时蔡州刺史秦宗权与黄巢秦孽合从肆寇，共围陈州。久之，僖宗乃命帝为东北面都招讨使。时汴、宋连年阻饥，公私俱困，帝禀告虚，外为大敌所攻，内则新军难制，交锋接战，日甚一日。人皆危之，惟帝锐意益振。是岁十二月，帝领兵于鹿邑，与巢众相遇，纵兵击之，斩首二千余级，乃引兵入亳州，因是兼有谯郡之

地。

四年春，帝与许州田从谏诸军同收瓦子寨，杀贼数万众。是时，陈州四面，贼寨相望，驱掠编氓，杀以充食，号为“春磨寨”。帝分兵翦扑，大小凡四胜。四月丁巳，收西华寨，贼将黄骝单骑奔陈。帝乘胜追之，鼓噪而进。会黄巢遁去，遂入陈州，刺史赵贻迎于马前。俄闻巢众尚在陈北故阳垒，帝遂径归大梁。是时，河东节度使李克用奉僖宗诏，统骑军数千同谋破贼，与帝合势于中牟北邀击之，贼众大败于王满渡，多束手来降。时贼将霍存、葛从周、张归厚、张归霸皆偏闻于马前，悉有而纳之，遂逐残寇，东至于宛句。

五月甲戌，帝与晋军振旅归汴，馆克用于上源驿。既而备犒宴之礼，克用乘醉任气，帝不平之。是夜，命甲士围而攻之。会大雨雷电，克用因得于电光中逾垣遁去，惟杀其部下数百人而已。六月，陈人感解围之惠，为帝建生祠于其郡。是岁，黄巢虽败，而蔡州秦宗权继为巨孽，有众数万，攻陷郟郡，杀掠吏民，屠害之酷，更甚巢贼，帝患之。七月，遂与陈人共攻蔡贼于澠水，杀数千人。九月己未，僖宗就加帝检校司徒、同平章事，封沛郡侯，食邑千户。

光启元年春，蔡贼掠亳、颍二郡。帝帅师以救之，遂东至于焦夷，败贼众数千，生擒贼将股铁林，枭首以徇军而还。三月，僖宗自蜀还长安，改元光启。四月戊辰，就加帝检校太保，增食邑千五百户。十二月，河中、太原之师逼长安，观军容使田令孜奉僖宗出幸凤翔。

二年春，蔡贼益炽。时唐室微弱，诸道兵不为王室所用，故宗权得以纵毒，连陷汝、洛、怀、孟、唐、邓、许、郑，幅輳千里，殆绝人烟，惟宋、亳、滑、颍仅能闭垒而已。帝累出兵与之交战，然或胜或负，人甚危之。三月庚辰，僖宗降制就封帝为沛郡王。是月，僖宗移幸元。五月，嗣襄王福膺即帝位于长安，改元为建武。遣使赉伪诏至汴，帝命焚之于庭。未几，襄王果败。七月，蔡人遁司州，节度使鹿宴宏使来求救，帝遣葛从周等率师赴援。师未至而城陷，宴宏为蔡贼所害。十一月，滑州节度使安师鲁以意于取政，为部下所杀。帝闻之，乃遣朱全忠、李唐宾袭而攻之，由是遂有滑台之地。十二月，僖宗降制就加帝检校太傅，改封吴兴郡王，食邑三千户。

是岁，郑州为蔡贼所陷，刺史李璠单骑来奔，帝有而纳之，以为行军司马。宗权既得郟、盩，帝遣裨将罗于金隄驛，与贼相遇，因击之，贼众大败，追至武阳桥，斩首千余级。帝每与蔡人战于四郊，既以少击众，常出奇以制之，但患师少，未快其攻。宗权又以己众十倍于帝，耻于频败，乃誓众坚决以攻夷门。既而获蔡之谍者，备知其事，遂谋济师焉。

三年春二月乙巳，承制以朱珍为滑州刺史，募募兵于东道，且虑蔡人暴其麦苗，期以夏首回归。珍既至滑、隰，旬日之内，应募者万余人。又潘濛、张于，获马千匹，铠甲是日，乃数行而归。四月辛亥，遣于夷门。帝喜曰：“吾事济矣。”是时，贼将张晞屯于北郊，秦贤屯于版桥，各有众数万，树栅相连二十余里，其势甚盛。帝谓诸将曰：“此贼方今息师蓄锐以俟时，必来攻我。况宗权度我兵少，又未尝知来，谓吾畏怯，止于坚守而已。今出不意，不如先击之。”乃亲引兵攻秦寨，将士踊跃争先，贼果不备，连拔四寨，斩首万余级，时贼众以为神助。庚午，贼将卢瑋领万余人于圃田北万胜戍，夹汴水为营，跨河为梁，以扼运路。帝择精锐以袭之。是日昏雾四合，兵及贼垒方觉，遂突人掩杀，赴水死者甚众，卢瑋自投于河。河南诸贼连败，不敢复战，并在张晞寨。自是蔡寇皆怀震惧，往往军中自相惊乱。帝旋师休息，大行犒赏，由是士卒皆怀感激，每遇敌，无不奋勇。五月丙子，出酸枣门，自卯至未，短兵相接，贼众大败，追斩二十余里，僵仆就枕。宗权耻败，益纵其虐，乃自郑州亲领突将数人，径入张晞寨。其日晚，大隄陷于

贼垒，有声如雷。辛巳，充、鄂、滑军士皆来赴援，乃陈兵于汴水之上，旌旗器甲甚盛。蔡人望之，不敢出寨。翌日，分布诸军，齐攻贼寨，自寅至申，斩首二万余级。会夜收军，获牛马、辐重、生口、器甲不可胜计。是夜，宗权、阮逃去，迟明遁之，至口置桥而还。宗权至郑州，乃尽焚其庐舍，屠其郡人而去。始蔡人分兵寇陕、雒、孟、怀、许、汝，皆先据之，因是败也，贼众恐惧，咸弃之而去。帝乃慎选将佐，俾充葺壁垒，为战守之备，于是远近流亡复归者众矣。是时，扬州节度使高骈为裨将拜时锋所害，复有孙儒、杨行密互相攻伐，朝廷不能制，乃就加帝检校太尉，兼领淮南节度使。

九月，亳州裨将谢殷逐刺史宋衮，自据其郡；帝亲领军屯于太清宫，遣曹琇讨平之。帝之御寇寇也，鄂州朱瑄、兖州朱瑄皆领兵来援。以宗权既败，瑄以瑄、璋宗人，又有力量于己，皆厚礼以归之。瑄、璋以帝军士勇悍，私心爱之，乃密于曹、濮界上悬金帛以诱之，帝军利其货而赴者甚众，帝乃移檄瑄、璋。朱瑄来词不逊，乃命朱珍侵曹伐濮，以惩其奸。未几，珍伐曹州，执刺史丘礼以献，遂移兵围濮。充、鄂之衅，自兹而始矣。（《通鉴考异》引《若拙》《后史补》云：“梁太祖自到梁园，深有大志。然兵力不足，常欲外掠；又虞四境之难，每有怙然之状。时有荐敏秀才于门下，乃白梁祖曰：‘明公方欲图大事，辐重必为四境所侵。但令麾下将士皆为叛者而逃，即明公奏于主上，及告四邻，以自叛叛徒为名。’梁祖曰：‘天降奇人，以佐于吾。’初从其议，一出而致众十倍。’）

十月，僖宗命水部郎中王赞撰纪功碑以赐帝。是月，帝亲帅诸子巡师于濮上，因破朱瑄援师于范县。丁未，攻陷濮州，刺史朱裕单骑奔鄂。寻为鄂人所败，逾月乃还。十二月，僖宗遣使赐帝铁券，又命翰林承旨刘崇望撰德政碑以赐帝。闰甲寅，帝请行营司马李璠权知淮南留后，乃遣大将郭言领兵援送至扬州。

文德元年正月，帝亲帅东征赴淮，行次宋州，闻杨行密已拔扬州，遂还。是时，李璠、郭言行至淮上，为徐牧所扼，不能进而还。帝怒，遂谋杀徐。二月丙戌，僖宗制以帝为蔡州四面行营都统，以是诸镇之师，皆受帝之节制。三月庚子，昭宗即位。是月，蔡人石瑄领万众以黠陈、亳，帝遣朱珍率精骑数千擒瑄以献。四月戊辰，魏博乐彦桢失律，其子从训出奔相州，使人乞师。帝遣朱珍领大军济河，连收黎阳、临河二邑。既而魏军推小校罗宏信为帅。宏信既立，遣使送款于汴，帝优而纳之，遂命班师。是月，河南尹张玄英袭李罕之于阳阳，克之。罕之单骑出奔，因乞汴于太原，李克用为发万骑以援之。罕之遂收其众，偕晋军合势，急攻河阳。全义危急，遣使求救于汴，帝遣丁会、牛存节、葛从周领兵赴之，大败于温县，晋人与罕之俱败。于是河桥解围，全义归于河阳，因以丁会为河阳留后。

五月己亥，昭宗制以帝检校侍中，增食邑三千户。戊辰，昭改帝乡锦衣，里曰沛里。是月，帝以兼有洛、孟之地，无西顾之忧，将大整师旅，毕力诛蔡。会蔡人赵德谲举淮南之地以归于朝廷，且遣使送款于帝，仍誓戮力同讨宗权。帝表其事，朝廷因以德谲为蔡州四面副都统。又以河阳、保义、义昌三节度为帝行军司马，兼粮料应接。至是，帝遣诸侯之节度使德谲以兵蔡贼于汝水之上，遂薄其城。五日之内，树二十八寨以环之，寨象列宿之数也。时帝亲临矢石，一日，矢中其左腋，血渍单衣，顾谓左右曰：“勿泄。”九月，以粮运不继，遂班师。是时，帝知宗权残孽不足为患，遂移兵以伐徐。十月，先遣朱珍领兵与时锋搏于吴康陵，徐人大败，连收丰、萧二邑；溥携散骑入彭门。帝命分兵以攻宿州，刺史张友携符印以降。既而徐人闭壁坚守，遂命庞师古屯兵守之而还。是月，蔡贼孙儒攻陷扬州，自称淮南节度使。

淮南元年正月，庞师古攻下宿迁县，进军于吕梁。

时溥领军二万，晨压师古之军而阵，师古促战，遂败之，斩首二千余级，溥复入于彭门。二月，蔡将申从遣使来告，缚蔡宗权于帐下，折其足而囚之矣。帝即日承制以之为淮西留后。未几，从复为都将郭瑊所杀。是月，璠执宗权来献，帝遣行军司马李璠、牙校朱克让槛送于长安。既至，昭宗御延喜楼受俘，即斩宗权于独柳树下。蔡州平。昭宗诏加帝食封一百户，赐庄宅各一区。三月，又加帝检校太尉、兼中书令，进封东平王，赏平蔡之功也。

大顺元年四月丙辰，宿州小将张筠刺刺史张绍光，拥众以附时溥。帝亲率军讨之，杀千余人，筠遂坚守。乙卯，时溥出兵暴陷山县，帝遣朱友裕以兵策之，败徐军三千余人，获沙陞援军石君和等三十人，斩于宿州城下。六月辛酉，淮南孙儒遣使修好于帝，帝表其事，请以淮南节度授于儒焉。辛未，昭宗命帝为宣义军节度使，充河东东面行营招讨使，时朝廷宰臣张浚将兵讨太原故也。八月甲寅，昭又将冯霸杀沙陞留者节度使李克恭来降，帝移河阳节度使朱崇节为潞州留后。戊辰，李克用自率蕃汉步骑数万以围潞州，帝遣葛从周率骁勇之士，夜中街枚犯围而入于潞。九月壬寅，帝至河阳，遣部将李说引军趋泽、潞，行至马牟川，为晋人所败。帝又遣朱友裕、张全美率精兵至鄂州北以应军。既而崇节、葛从周皆来归。戊申，帝廷责诸将为叛之罪，斩李说、李重允以徇，遂班师焉。十月乙酉，帝自河阳赴滑台。时奉诏讨太原，先遣使假道于魏，魏人不从。先是，帝遣行人雷郭弁乘朱崇节为晋人所杀。罗宏信惧，不敢取从命，遂通好于太原。十二月辛丑，帝遣丁会、葛从周率众渡河取黎阳、临河，又令庞师古、霍存下淇门、卫县，帝徐以大军继其后。

二年春正月，魏军屯于内黄。丙辰，帝与之接战，自内黄至永定桥，魏军五败，斩首万余级。罗宏信惧，遣使持厚币请和。帝命止其焚掠而归其俘，宏信由是感悦而听命焉。乃收军屯于河上。八月己丑，帝遣丁会急攻宿州，刺史张筠坚守其壁，会乃率众于州东筑堰，泄汴水以浸其城。十月壬午，筠遂降。宿州平。十一月丁未，帝移兵将郭绍宾杀刺史郭晓，举郡来降。是月，徐将刘知俊率众二千来降，自是徐军不振。十二月，兖州朱瑾领军三万寇单父，帝遣丁会领大军袭败之，败于金乡界，杀二万余众，瑾单马遁去。

景福元年正月，帝遣丁会于兖州界徙其民数千户于许州。二月戊寅，帝亲征郢，先遣朱友裕屯于斗门。甲申，次卫南，有飞鸟止于堞楼之上，鸣噪甚厉。副使李璠曰：“将有不如意之事。”是夜，鄂州朱瑄率步骑万人袭朱友裕于斗门，友裕拔军南去。乙酉，帝晨救斗门，不知友裕之不及，遂前斗门者皆为鄂人所杀。帝追袭鄂人至颍河，未及，遂遣兵于村落间，时朱瑄尚在濮州。丁亥，遇朱瑄率兵将归于鄂，遂来冲击。帝策马南力，为贼所追甚急，后有浚沟，跃马而过，张归厚援于颍力战于其后，乃免。时李璠与部将数人皆为鄂军所杀。五月丙午，遣朱克让率众暴攻，鄂之麦。十一月，遣朱友裕率兵攻濮州，下之，擒刺史部儒以献，濮州平。遂命移军伐徐州。

二年四月丁丑，庞师古下彭门，泉时溥自出，败之。八月，帝遣庞师古移兵攻兖，驻于曲阜，与朱瑄屡战，皆败。十二月，师古遣先锋葛从周引军以攻齐州，刺史朱威告急于宗。既而朱瑄以援兵至，遂固其垒。

乾宁元年二月，帝亲领大军由鄂州东路次于鱼山。朱瑄闻知，即以兵径至，且图速战。帝整军出寨，时瑄、璋已阵于前。须臾，东南风大起，我军旗帜乱次，甚有惧色，即令骑士扬鞭呼啸。俄而西北风骤发，时两军皆在草莽中，帝因纵火。既而烟焰亘天，乘势以攻贼阵，瑄、璋大败。杀万余人，余众拥入清河，因筑京观于鱼山之阴，驻军数日而还。

二年正月癸亥，遣朱友恭帅师伐兖，遂甄而围

之。未几，朱瑄自率步骑援粮欲入于究，友恭设伏以败之，尽夺其餉于高吴，因擒蕃将安福顺、安福庆。二月己酉，帝领亲军屯于单父，以为友恭之援。四月，濂、寿二州复为杨行密所陷。是时，太原遣将史俨儿、李承嗣以万骑驰入于郢。朱友恭遂归于汴。八月，帝领亲军伐郢，至大仇，遣前军挑战，设伏于梁山以待之。既而获蕃将史完府，夺马数百匹。朱瑄脱身遁去，复入于郢。十月，帝驻军于郢，齐州刺史朱琼遣使请降，琼即璩之从父兄也。帝因移军至竟，琼果来降。未几，琼为朱璩所给，掠而杀之，帝即以弟玘为齐州防御使。十一月，朱瑄复遣将贺瑰、柳存及蕃将何怀宝等万余人以袭曹州，庶解兖州之围也。帝知之，自亲领军策马先路至钜野南，追而败之，杀戮将尽，生擒贺瑰、柳存、何怀宝及贼党三千余人。是日申时，狂风暴起，沙尘沸涌，帝曰：“此乃杀人未足耳。”遂下令尽杀所获囚俘，风亦止焉。翼日，紫贺瑰等以示于究。帝素知瑰名，乃释之，惟斩何怀宝于究城之东，乃班师。十二月，葛从周领兵复伐兖。既至，与朱璩战于坐下，杀千余众，擒其将孙汉筠已下二十人，遂旋师。

三年正月，河东李克用既破郃州，欲谋争霸，乃遣蕃将张污洛以万骑蹙于河北之莘县，声言欲救兖、郢。魏博节度使罗宏信患之，使来求援。二月，帝领亲军屯于单父，会寒食，帝乃亲拜文穆皇帝陵于砀山县午沟里。四月辛酉，河东泛涨，将坏滑城。帝令决堤岸以分其势为二河，夹滑城而东，为害滋甚。是月，帝遣许州刺史朱友恭领兵万人渡淮，以便宜从事。时黄、鄂二州累遣使求援，故有是行。五月，命葛从周统军屯于洹水，以备番军。六月，李克用帅蕃汉诸军营于斥丘，遣其男落落将铁林小儿三千骑薄于洹水，从周与战，大败之，生擒落落以献。克用悲，请修旧好以贖其子，帝不许，遣落落送于罗宏信，斩之。越七日，我军还屯阳留以伐郢。八月，复壁于洹水。是时，昭宗幸华州，遣使加帝检校太师，守中书令。

四年正月，帝以洹水之师大举伐郢。辛卯，营于济水之次，庞师古令诸将撤木为桥。乙未夜，师古以中军先济，声振于郢，朱瑄闻之，弃夜遁。葛从周随之至中都北，擒瑄并其妻冯氏，斩于汴桥下。郢州平，乙亥，帝入于郢，以朱友裕为郢州兵马留后。时帝闻朱璩与史俨儿在丰沛间搜索粮馈，惟留康怀英以守兖州，帝因乘胜遣葛从周以大军袭兖。怀英闻郢失守，俄又我军大至，乃出降；朱璩、史俨儿遂奔淮南。兖、海、沂、密等州平。乃以葛从周为兖州留后。五月丁丑，朱友恭遣使上言，大破淮寇于武昌，收复黄、鄂二州。八月，陕州节度使王珙遣使来乞师。是时，珙弟珂实为蒲帅，迭相愤怒，日寻于戈，而兵兵寡，故来求援。帝遣张存敬、杨师厚等领兵赴陕，既而与蒲人战于筠氏，大败之。九月，帝以兖、郢既平，将士雄勇，遂大举南征。命庞师古以徐、宿、宋、滑之师直趋滑口，葛从周以兖、鄂、曹、濮之众径赴安丰。淮人遣朱璩兵以拒师古，因决水以浸军，遂为淮人所败，师古没焉。葛从周行及溱梁，闻师古之败，亦命班师。

旧五代史第二卷

梁书二

太祖纪二

光化元年正月，帝遣葛从周统诸将略地于山东，遂次于邢、洛。三月，昭宗以帝兼领天平军节度使，余如故。四月，沧州节度使卢廷彦为燕军所攻，弃城奔于魏，魏人送于汴。是月，帝以大军至钜鹿，屯于城下，败晋军万余众于青山口，俘马千余匹。丁卯，遣从周分兵攻洺州，斩刺史邢善益，擒将五十余人。五月己巳，邢州刺史马师素弃城遁去。辛未，磁州刺史袁奉州自刎而死。五日之内，连下三州。因以葛从周兼邢州昭义军节度使留后，帝遂班师。是时，襄州节度使赵匡凝闻帝军有滑口之败，密附于淮夷。七月，帝遣氏叔琮率师伐之。未几，泌州刺史赵璠越墙来降；随州刺史赵匡胤临阵就擒。

二年正月，淮南杨行密举全吴之众，精甲五万，以伐徐州，帝领大军御之。行密闻兵东征，乃收军而退。时幽州节度使刘仁恭大举蕃汉兵号十万以伐魏，遂攻贝州，州民万余户，无少长悉屠之。进攻魏州，魏人来乞师，帝遣朱友伦、张存敬、李思安等先屯于内黄，帝遂亲征。三月，与燕军战于内黄北，燕军大败，杀二万余众，夺马二千余匹，擒都将军单无敌已下七十余人。《通鉴》：单可及，幽州骁将，号单无敌。是月，葛从周自山东领其部众，驰以救魏。翼日，单胜，诸将张存敬以下连破八寨，遂逐燕军，北至于临清，魏其残寇于御河，溺死者甚众。仁恭奔于沧州。六月，帝表丁会为潞州节度使，以李罕之疾亟故也。又遣葛从周由固镇路入于潞州，以援丁会。七月壬辰朔，海州陈汉宾拥所部三千奔于淮南。戊戌，晋人陷泽州。帝遣召葛从周于潞，留贺德伦以守之。未几，德伦为晋人所逼，遂弃潞而归，由是潞州复为晋人所有。十一月，陕州都将朱简杀留后李璠，自称留后，送款于帝。

三年四月，遣葛从周以兖、鄂、滑、魏之师伐沧州。五月庚寅，攻德州，拔之，寨刺史傅公和于城上。己亥，进攻浮阳。六月，燕师刘仁恭大军来援，从周与诸将逆战于乾宁军老鸦堤，大破之，杀万余众，俘其将佐马慎交已下百余人。既而以连雨，遂班师。八月，河内遣李进袭襄陵陷洛州，执刺史朱绍宗。帝遣葛从周自郢州渡漳水，屯于黄龙镇，亲领中军涉洛而塞；晋人惧而宵遁，洺州复平。九月，帝以仁恭、进通之人寇也，皆由镇、定为其囊橐，即以葛从周为上将以伐镇州，遂攻下临城，渡漳浚以环其城。帝亲领军继至，镇帅王焜俱、纳质请盟，仍献文绉二十万以犒战士，帝许之。十月，晋人以帝宿兵于赵，遂南下太行，急攻洺阳，留后侯言与都将阎宝力战固守，仅而获全。十一月，以张存敬为上将，自甘陵发军，北伐幽、蓟，连拔冀、莫二郡，遂移军以攻中山。定帅王部以精甲二万战于怀德亭，尽殍之。部惧，奔于太原。迟明，大军集于城下，部季父处直持印绶乞降，亦以贖帛三十万为献，帝即以处直代部领其镇焉。是月，燕人刘守光援赴中山，蔡于易水之上，继为康怀英、张存敬等所败，斩获甚众。由是河朔相惧，皆弭伏焉。

是岁，唐左军中尉刘季述幽昭宗于东宫内，立皇子德王裕为帝，仍遣其养子希度来言，愿以唐之神器输于帝。帝时方在河朔，闻之，遽还于汴，大议未决。会李振自长安使回，因言于帝曰：“夫竖刁、伊戾之乱，所以资霸者之事也。今闻竖幽辱天子，王不能讨，无以令诸侯。”帝悟，因请振复使于长安，与时宰潜谋反正。

天复元年正月乙酉朔，唐宰相崔胤使人以帝密旨告于侍卫军将孙德昭曰：下令诛左右中尉刘季述、王仲先等，即迎昭宗于东内，御楼反正。癸巳，降制进封帝为梁王，酬反正之功也。崔胤之反也，汴之御史程岩奉昭宗衣下殿。帝闻之，召岩至汴，折其足，送于长安，杖杀之。是时，河中节度使王珂结援于太原，帝怒，遣大将张存敬率将涉河，由含山路跋行而进。戊申，攻下绛州。壬子，晋州刺史张汉瑜举郡来降，帝即以大将侯言权领晋州，何绍权领绛州。晋、绛平。己未，大军至河中，存敬命繆其垣而攻之。壬戌，蒲人颉峒以请降。庚午，帝至河中，以张存敬权领河中军府事，河中平，帝乃东还。是月，李克用遣牙将张特来聘，请河内好，帝亦遣使报命。三月癸未朔，帝归自河中。是月，遣大将贺德伦、氏叔琮领大军以伐太原，叔琮等自太行路入，魏博都将张文恭自磁州新口入，葛从周以兖、郓之众自土门路入，洺州刺史张厚以本军自马岭入，定州刺史王处直以本军自飞狐入，晋州侯言自阴地入。泽州刺史李存璋弃郡奔归太原。叔琮引军逼潞州，节度使孟让一降。河东屯将李审建、王周领步军一万，骑二千皆叔琮旧降，乃进军趋太原。四月乙卯，大军出石会关，营于洞沟驿。都将白奉国自井陘入，收承天军。张归厚引兵至辽州，刺史张郛迎降。氏叔琮即日与诸军至阳城下，城中虽时出精骑来战，然危蹙已甚，将谋遁矣。会叔琮以乌粮不给，遂班师。五月癸卯，昭宗以帝兼领护国军节度使，河中尹。六月庚申，帝发自大梁。丁卯，视事于河中，以素服出郊，拜赦节度使王重荣墓。寻辟其子璠为节度判官，请故相张浚为重荣襄礼。帝自中和初归唐，首依重荣，至是思其旧德，故恩礼若是。七月甲寅，帝东还梁粟。

十月戊戌，奉密诏赴长安。是时，朝廷既诛刘季述，以韩全海、张宏彦为两军中尉，易易周，周敬官为枢密使。是时军国大政，专委宰相崔胤矣，每事裁抑官为，宦官侧目。允一日于便殿，奏欲尽去之，全海等属垣闻之，尝于昭宗前祈哀自诉。自是昭宗勒允，每有密奏，令进襄封。全海等乃访京城美妇人十数进，使求官中阴事，昭宗不悟，允渐泄。时相视允恫裂，以重赂甘言诱藩臣以为城社，时因燕聚，则相向流涕。时允掌三司货泉，全海等教禁兵伺允出，聚而呼噪，诉以冬衣减损，又于昭宗前诉之；昭宗不得，罢允知政事。允怒，急召帝请以兵入辅，故有是行。戊申，行次河中。同州留后司马郭，帝之幕也，举郡来降。辛亥，驻军于渭滨，华州韩建遣使奉笺纳款，又以银三万助军。是日，行次零口。癸丑，闻长安乱，昭宗为阉官韩全海等劫往，西幸凤翔，盖避帝之兵锋也。翼日，遂命旋师，夕次于赤水。乙卯，大军集于华州城下，韩建遣使告曰：即以城降。丙辰，帝表建权知忠武军事，促令赴任。同，即华州平。是时，唐太子太师卢知猷等二百六十三人列状请帝速迎奉。己未，遂帅诸军发自赤水。壬戌，次于咸阳。使者云：“天子昨暮至岐山，且日宋文通扈蹕入其间。”是时，岐人遣大将符道昭领兵万人，屯于武功以拒帝，帝遣康怀英败之，掳甲士六千余人。乙丑，次于岐山，文通遣使奉书自陈其反，请帝入岐。丙辰，及岐阨，文通逾沟，闭壁不获通，复次于岐山。是时，昭宗遣使资朱书御札赐帝，遣帝收军还本道。帝诊之曰：“此必文通、全海之谋也。”皆不奉诏。癸酉，飞章奉辞，且移军北伐。乙亥，至郿州，节度使李继徽举马。继徽因请去文通等，乞赐钅，复本宗杨氏，又请纳其帑以为质，帝皆从之，仍易其名曰崇本。郿州平。

丑，唐丞相崔胤、京兆尹郑元规至华州，以速迎奉为请，许之。

二年正月，帝复次于武功，岐人坚壁不下，乃回军于河中。二月，闻晋军大举南下，声言来援凤翔，帝遣朱友宁帅师会晋州刺史氏叔琮以御之，帝以大军继其后。三月，友宁、叔琮与晋军战于晋州之北，大败之，生擒用男廷鸾。帝喜，谓左右曰：“岐人之所恃也，今既如此，岐之变不久矣。”四月，岐人遣符道昭领大军屯于虢县，康怀英帅骑驰之。丁酉，唐丞相崔胤自华来谒帝，屢谈艰危急事，事不可缓；又忠愿拥昭宗幸蜀，且告帝，帝为动容。允将辞，启宴于府署，帝举酒，允情激于哀，因自持长板，声曲以侑酒。帝甚悦，座中以良马珍玩之物资，既行，命诸将缮戎具。

五月丁巳，帝复西征。六月丁丑，次于虢县。癸未，与岐军大战，自辰至午，杀万余众，擒其将校数百人，乘胜遂逼其垒。七月丙午，岐军复出兵，帝军不利。是月，遣孔勣帅师取凤、陇，成三州，皆下之。是时，岐人相率结寨于诸山，以避晋军；帝分兵以讨，浹旬之内，并平之。九月甲戌，帝以岐军诸寨连结稍盛，因亲统千骑登高诊之。时秋空澄霁，烟霞四绝，忽有紫云如伞盖，凝于龙旌之上，久之方散，观者咸讶之。是时，帝以岐人坚壁不战，且虑师老，思欲旋旆以归河中，因密召上将数人语其事。时亲从指挥使高季昌独前出抗言曰：“天下雄杰，窥此举者一岁矣；今岐人已困，愿少俟之。”帝嘉其言，因曰：“兵法贵以正理，以奇胜者许也，乘机乘时，必由是乎！”乃命李昌密募人戍以诈之，寻有骑士马景显应命，且曰：“是行也，必无生理，愿录其辜。”帝遂从其所行，景固请，乃许之。明日军出，《北梦琐言》云：时因朱友伦总帅军且至，将大出兵逐之。诸寨屏匿如无人，景因驱马西走，直叩岐城，诈以军趣东道为告，且言列寨尚留万余人，俟夕将遁矣，宜速掩之。李茂贞信其言，《案》：李茂贞即文通，此纪前后互异，盖仍当时军微之文，未及改从画一。）遂后二扉，悉众来寇。时诸军以介马待之，中军一鼓，百营俱进，又分遣数骑以据其阨。岐人进不能胜其退，退不能入其垒，杀戮践踏，不知其数。茂贞由是丧胆，但闭壁而已。十一月癸卯，郿州周彝《新唐书》作“李茂勋”，茂勋即周彝也。）统兵万余人屯于岐之北原，与城中举烽以相应。翼日，帝以周彝兼领本部，郿时必无守备，因命孔勣乘虚袭下之。甲寅，郿州平。周彝闻之，收军而遁。茂贞见失郿州之援，愕然有瓦解之惧，由是议还警蹕，诛闻甲，岐城焉。

三年正月甲寅，岐人启壁，唐昭宗降使宣问慰劳，兼传密旨。寻又命翰林学士崔彦，赵国夫人颜懿赏赐押赐帝紫金酒器、御玉带。丙辰，华州留后李存遣飞骑来告，晋州节度使王师范遣牙将张厚崇、甲师弓栗，诈言来献，欲盗据州城，事觉，已擒之矣。是日，师范又遣其将刘昶盗据兖州。丁巳，昭宗遣中使押送军容使韩全海已下三千余人首级以献帝。甲子，昭宗发离凤翔，幸左剑寮，权驻蹕帝营。帝素服数日，昭宗命学士传宣免之，帝即入见称罪，拜使者慰之。既而促召升殿，帝窃御座，且曰：“宗庙社稷是卿再造，朕与戚属是卿再生。”因解所御玉带面以赐帝；帝亦以玉鞍勒马、金银器、纹锦、御饌酒果等射自拜进焉。及祭华东，帝乘四马前导十余里，宣令止之。己巳，昭宗至长安，谒太庙，御长乐殿。礼毕，帝谓曰：“朕入旧京，是卿之力也。自古救君之危，曾无有如是者。况今日再及清庙，得亲奉觴酒，美于先皇帝室前，卿之德，朕知不能报矣！”帝乃帝执手，声泪俱发者久之。翼日，诛宦官五百可范等五百余人于内侍省。二月庚辰，制以帝为守太庙，兼中书令，宣武宣义天平护国等军节度使，诸道兵马副元帅，加食邑三千户，实封四百户，仍赐回天再造竭忠守正功臣。

戊戌，帝建庙东还，昭宗御延喜楼送之，既醉，遣内

臣赐帝御制《杨柳词》五首。三月戊午，至大梁。时以青州未平，命军士休浣以俟东征。四月丙子，巡师于临淄，亟命逼其城，与青州兵战于城下，大败之。是夕，淮将王崇仁以所部援军宵遁，帝遣杨师厚追及辅唐，杀千人，乘胜攻下密州。八月戊辰，以伐叛之柄委于杨师厚，帝乃东还。九月癸卯，师厚率大将与王师范战于临淄，青军大败，杀万余人，并擒师范弟师曠，即时徙塞以逼其城。辛亥，偏将刘重霸擒棣州刺史部播来献。播，师范之谋主也，帝命毙之。戊午，师厚举城请降。青州平。翼日，分命将校略地于登、莱、淄、棣等州，皆下之。由是东渐至海，皆为梁土也。帝复命师范权知青州军州事，师范乃请以钱二十万贯犒帝，帝许之。十月辛巳，护驾都指挥使朱友伦因击鞠堕马，卒于长安。卅一日丁酉，青将刘邵举兖州来降。邵，王师范之将也，师范令其窃据兖州之久，及闻师范降，邵乃归命。帝以寻善事主之，待之甚优，西署为元帅都押牙，权知郟州留后。

天祐元年正月己酉，帝发自大梁，西赴河中，京师闻之，为之震惧。是时，将议迎驾东幸洛阳，虑唐室大臣异议，帝乃密令护驾都指挥使朱友谅矫诏命，收宰相崔胤、京兆尹郑元规等杀之。《欧阳史》云：遣朱谦杀胤于京师，其与友伦击鞠者皆杀之。又，郟、岐兵士侵逼京畿，帝因是上表，请昭宗幸洛，昭宗不得已而从之。帝乃率诸道丁匠财力，同趋洛阳宫，不数日而成。二月乙亥，昭宗驻蹕于陕，帝自河中来，謁见行营。因洒涕而言曰：“李茂贞等窃谋祸乱，将迫乘輿，老臣无状，请陛下东迁，为社稷大计也。”昭宗命延于寝室何皇后，面赐酒器及衣物。何后谓帝曰：“此后大家夫妇委身于全忠矣。”因歔欷泣下。后数日，帝开宴于陕之私第，请驾临幸。翼日，帝拜辞洛阳，昭宗入内宴，时有官人与昭宗窃耳而语。韩建窥帝之意，帝遽出，以为图己，因连上章请车驾幸洛。《十国春秋》、《吴世方》云：三月丁未，唐帝遣使以绢告难于我及西川、河东等，令剑率藩镇，以图匡复。诏有云：“朕至洛阳，则为全忠所幽闭，诏救皆出其手，朕意不得复通矣。”

三月丁未，昭宗制以帝兼判左右神策及六军诸卫事。是时，昭宗累遣中使及内夫人传宣，谓帝曰：“皇后方在草蓐，未任就路，欲以十月幸洛。”帝以陝州小藩，非万乘久留之地，期以四月内东幸。闰丁酉，昭宗发内陝都。壬寅，次于谷水。是时，昭宗左右惟小黄门及打球供奉、内园小兒二百余人，帝犹忌之。是日，密令医官许昭远告变，乃设饌于别帐，召而尽杀之，皆坑于幕下。先是，选二百余人，形貌大小一如内园人物之状，至是使人擒二人，縊于帐前，即蒙其衣及戎具自饰。昭宗初不能辨，久而方察。自是，昭宗左右前后，皆梁人矣。甲辰，车驾至洛都，帝与宰相百官导驾入宫。乙卯，昭宗以帝为宣武、宣义、护国、忠武四镇节度使。时帝请以郟州授张全义，故有此命。五月丙寅，昭宗宴群臣，曰：“昨来御楼前一夜亡失敕命，赖梁王收得副本，不然误事，幸执不得有过矣。”是日宴次，昭宗入内，召帝于内殿曲宴，帝不测其事，不敢奉酒。又曰：“卿不欲来，即令敬翔人来。”帝密遣翔出，乃止。己巳，奉辞东归。乙亥，至大梁。六月，帝遣都指使朱友裕率师讨郟州，度使杨崇本叛故也。癸丑，帝西征，遂朝于洛阳。七月甲子，昭宗宴帝于文思御殿。乙丑，帝发东都。壬申，至河中。八月壬寅，昭宗遇弑于宫内，内制以辉王祝为嗣。乙巳，帝自河中引军而西。癸丑，次于永寿，车卒不出。九月辛未，兵师。十月癸巳，至洛阳，诣内中，临于梓宫前，祇见于嗣君。十一月，制以《案此下有阙文》。帝自西征。十一月辛酉，光州遣使来求援。时光州归款于帝，寻为淮南所攻，故来乞师。戊寅，帝南征渡淮，次于霍丘，大掠卢、寿之境，淮南乃奔光州而去。

二年正月庚申，进攻寿州，寿人坚壁不出。丁亥，帝自霍丘班师。二月辛卯，帝至自南征。甲午，青州节度使王师范至大梁，帝待以宾礼，寻表授洛阳节度使。七月辛酉，天子赐帝鸾纪功碑，树于洛阳。庚午，遣大将军杨师厚率前军讨赵匡凝于襄州。辛未，帝南征，表赵匡凝罪状，削夺官爵。八月，杨师厚进收唐、邓、岳、郢、随、均、房等七州。帝驻军汉江北，自循江而下，度济师之所。九月甲子，师厚于阴谷口进击襄州，赵匡凝率兵二万振于江上。师厚麾兵直趋，襄人大败，杀万余众。乙丑，匡凝焚其舟，率亲车载轻骑沿汉而遁。丙寅，帝济江，至中流，舟坏，将没者数四，比及岸，舟沉。是日，入襄城，帝因周视府署，其窟藏悉空。惟于西庑下有一亭，窗户俨然，固锁甚密，遂令破锁启扉，中有一大匮，铤鏹甚至，又令破其匮，内有金数百锭。帝因叹曰：“乱兵既入，公私财货固无子遗矣。此帑当有阴物主之，不令常人所得，俟我以有之邪！”遂以百余铤赐杨师厚。袭荆州，留后赵匡明弃城之峡狂奔。荆、襄二州平。帝以都将贺瑰权领荆州，杨师厚权领襄州，即表其事。

十月丙戌朔，天子以帝为诸道兵马元帅。辛卯，帝自襄州引军由光州路趋淮南；将发，敬翔切谏，请班师以全军势，帝不听。壬辰，次于枣阳，遇大雨，颇阻师行之势。军至寿春，寿春人坚壁清野以待帝。帝乃还，舍于正阳。十一月丙辰，大军北济。《十国春秋》：柴再用抄其后军，斩首三千级，获輜重万计。帝至汝阴，深悔淮南之行，蹙然尤甚。《忠友杂志》：朱全忠志与僚佐及游客坐于大柳之下，全忠独言曰：“此树宜为车毂。”众莫应。有游客数人起应曰：“宜为车毂。”全忠勃然厉声曰：“书生辈好顺口玩人，皆此类也。车须用夹毂，柳木岂可为之！”顾左右曰：“尚何待！”左右数人捧言为车毂者，悉扑杀之。丁卯，帝自南征。辛巳，天子命帝为相国，总百揆。以宣武、宣义、天平、护国、天雄、武顺、佑国、河阳、武义、昭义、保义、武昭、武定、泰宁、平卢、匡国、忠武、镇国、荆南等二十一道为魏国。（案《旧唐书》，尚有武志、镇国二道，此阙载。）进封帝为魏王，入朝不趋，剑履上殿，赞拜不名，兼备九锡之命。癸未，唐中书门下奏：“中书印已送相国，中书公事权用中书省印。”甲申，中书门下奏：“天下州县名与相国魏王家讳同者，请易之。”十二月乙酉朔，让相国。魏王、九锡之命。丙戌，京百司各差官资本司须知孔目并印赴魏国送纳。甲午，天子以帝坚让九锡之命。乃命宰相柳璨来使，且述揖让之意焉。丁酉，帝让九锡之命，诏略曰：“但以鸿名难掩，懿实须彰，宜且徇于奏陈，未便行于典册。”又改诸道兵马元帅为天下兵马元帅。是时，帝以唐朝百官服饰多阙，乃制造逐色衣服，请朝廷等第赐之。其所给俸钱，仍请自来年正月全支。

三年正月，幽、沧称兵，将寇于魏。魏人来乞师，且以牙军驍悍，谋欲诛之，遣亲史臧延范密告于帝，帝阴许之。乙丑，北征。先是，帝之爱女适罗氏，是月卒于郟城，因以兵仗数千事实于囊中，遣将马副勋领兵直进军千人，杂以工匠、丁夫，肩其囊而入于魏，声言为帝女设祭，魏人信而不疑。庚午夜，副勋率其众与罗绍威亲军数百人同攻牙军，迟明尽杀之，死者七千余人，泊于要隘，亦无留者。是月，帝伐于内黄，闻之，驰骑至魏，时魏之大军方与帝军同伐沧州，闻牙军之死，即时奔还。帝之军追及内黄，杀贼凡千，余众乃拥大将史仁遇保于高唐，遣兵围之。是月，天子诏河南尹张全义部署修制相国魏王法物。

三月甲寅，天子命帝总判盐铁、度支、户部等三司事，帝未上章切让之，乃止。四月癸未，攻下高唐，军民无少长皆杀之，生擒逆首史仁遇以献，帝命高解之。未几，又攻下博、博、贝、卫等州，皆为魏军残党所据故也。是时晋人围郟州，刺史牛存节坚壁固守，帝遣符道昭帅师救之，晋人乃遁去。五月，帝略地于洛州，既而复入